



MEIJI VISION 150 ―前へ― 一人ひとりの「個」を磨き、 ともに持続可能な社会を創る



うのまさお
上野正雄学長
1980年明治大学法学部卒業。2003年
裁判官から明治大学に転職し、助教授、
教授を経て2024年より現職。専門は刑
事法（犯罪学、少年法、犯罪者処遇法）。

SUMMARY

明治大学は1881年、岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の3名の若き法律家によって「明治法律学校」として創立されました。建学の精神は「権利自由、独立自治」。「個」の確立を通じて、社会を支える一人ひとりの市民を育てるという精神です。これは現在の教育理念「『個』を強くする大学」に継承されています。

2031年、明治大学は創立150周年を迎えます。2019年に発表した「明治大学グランドデザイン2030」をさらに発展的に展開して「MEIJI VISION 150―前へ―」を策定し、10年後の明治大学のあるべき姿をビジョンとして位置付けるとともに、具体化に向けて新たな取り組みが始動しています。

01 150周年の節目に向け 新たな構想を展開

1881年に「明治法律学校」として、建学の精神「権利自由、独立自治」のもと創設された明治大学は2031年、創立150周年の大きな節目を迎えます。1世紀半の時を経て、大学を取り巻く社会の情勢は大きく変化しました。経済活動のグローバル化は歴史以上に豊かさをもたらす一方で、環境破壊や資源の枯渇、戦争、弾圧、差別、貧困など、人類の存続さえ脅かしかねない問題を地球上に出現させました。こうした問題を解決する力基は、明治大学の建学の精神の中に込められていると上野正雄学長は語ります。

「権利自由、独立自治」とは、最終的には一人ひとりの人間を大事にするという精神に尽きます。そこは建学以来ずっと変わっていません。学生数3万5000人を超える大学でありながら、個々の学生に教員・職員が真摯に向き合い、対応しています。学部間の垣根を低くし、自由な学びの場を提供することで、諸課題を解決する力を持つ人間を育てたいと考えています。

一人ひとりの「個」を磨き、ともに持続可能な社会を創る」という基本コンセプトのもと、2019年に教育における長期ビジョン「明治大学グランドデザイン2030」を発表しました。そして、創立150周年に向けて「MEIJI VISION 150―前へ―」を策定し、10年後の明治大学のあるべき姿をビジョンとして位置付け、具体化に向けての方針を定めました。

「教育研究機関である大学の財産は教職員と学生であり、それが核心部分です。現在、本学は非常に特色ある10学部を擁し、全学共通の多彩な講座やプログラムを数多く用意しています。1000人の専任教員や研究者がいる本学の価値を、一人ひとりの学生に十分還元できるように大学改革を進めていきます」（上野学長）

02 データサイエンス・AI関連の 教育強化

界ではさまざまな問題の解決にビッグデータの活用が注目され、AIが社会に大きな変革を起しつつあります。こうした革新的技術には数理工学の発展が不可欠です。明治大学は文部科学省の令和6年度「大学・高専機能強化支援事業」に「明治大学数理工学・データサイエンス・AI知能エキスパート育成プログラム」が選定されました。総合数理工学部でもデータサイエンス・AI関連の教育をより強化するため、2026年度より現象数理工学を「現象数理統計学科」に変更し、入学定員を90名から105名に増員するとともに、数理工学・情報技術の最先端を研究指導できる専任教員・特任教員を5名増強しました。

03 課題解決のプロフェッショナル 育成の新学科設置

治経経済学部では2026年度より、「地域行政学科」の学生募集を停止し、「政策学科」を新たに開設しました。「グローバルイノベーションにおける『地域』」には様々な意味と可能性がある一方で、解決困難な諸課題を抱えています。そこで、住民や企業、自治体などそれらを構成する主体が各々の役割に応じて適切な政策を企画・立案し、実行することが不可欠となります。新学科では改めて「政策」という言葉に着目し、理論と実践を鍛えるカリキュラムを整備しました」と上野学長。政治学、社会学、経済学など学際的な知識とデータ分析力・語学力を備え、各界で活躍する課題解決のプロフェッショナルを育成します。

04 次代の新たな価値を創造する 起業家精神に富んだ学生を育成

年、世の中ではスタートアップに対する注目と期待が大きくなっています。明治大学では2022年度から「持続可能な明治大学スタートアップの育成」を目標に、学部・大学院生を対象としたビジネスコンテストを開催。また、2025年度からアントレプレナーシップ教育と実際の起業支援業務を行う組織として「起業・スタートアップ支援室」を開設しました。スタートアップの入門教育を行う全学共通総合講座の運営、学生の起業活動支援、各種問い合わせ対応など、学内のスタートアップ関連活動のハブとして、人的・教育資源を集約する役目を果たします。

「現在、本学の卒業生は約61万人に及び、そのうちの40万人とは、校友会や紫組会などで密接につながっています。そうした方々のリソースも集積し、大学全体でスタートアップを支援していきます。実際の起業の支援だけでなく、アントレプレナーシップを備えた人材を社会へ送り出すことに、大学全体で取り組む意義があると考えています」（上野学長）

05 世界に開かれた大学として 留学制度をさらに充実

部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業にも採択された明治大学は、世界トップレベルの教育力を有する大学を目指すため、2031年までに在学生の50%に留学経験をしてもらうという目標を掲げました。達成に向けて、多彩な制度を整備。留学相談（カウンセリング）や学生留学アドバイザー、英語学習アドバイザー・オフィスアワーなどを充実させています。

06 一人ひとりの「個」を重視し 少人数重視の教育を展開

勢の中の一人ではなく、一人が集まって大勢になるという自覚を持つてほしい。そして、自分を大切にすると同時に、他者も尊重できる学生になるよう期待しています。全授業の半分以上が学生数30人未満で行われていること、さらに、教育・研究だけではなく、就職に関しても1年次から人生のキャリアプラン作成を支援するなど、学生同士、学生と教員とのつながりを大切にしています」（上野学長）

10年後には、中野キャンパスにある国際日本学部と総合数理工学部を駿河台キャンパスに移転することを予定していますが、これも両学部の先進的な教育・研究を明治大学全体に還元しようという目的があります。

建学の精神である「権利自由、独立自治」を今こそ深く理解し、実現することこそが、現代社会の抱える問題解決につながると考え、明治大学はこれからも「前へ」進んでいきます。

明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
入試広報事務局 TEL 03-3296-4139
https://www.meiji.ac.jp/exam/

入試総合
サイト



大学HP



LINE でつながる。



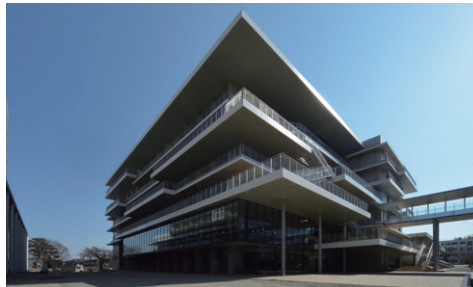
PICK UP 国際交流と学修、共創を促進するコミュニティ拠点



国際混住寮「Meiji Global Village」



2022年4月に誕生した「和泉ラーニングスクエア」



2025年4月に誕生した生田キャンパスのシンボル「センターフォレスト」



国際交流寮「狛江インターナショナルハウス」

(1) MEIJI VISION 150 ―前へ―

創立150周年に向け、2019年に発表した「明治大学グランドデザイン2030」を発展させ策定。総合大学として、学部・研究科の枠を超え、社会のニーズに対応した教育プログラムを展開するとともに、大学院では研究と教育を深化させ、世界のフロントラインで活躍する研究者を養成。時代を変革する人材の育成を目指す。

(2) 「就職に力を入れている 大学」17年連続1位

高校の進路指導教諭を対象に行った2026年度の調査のうち、「就職に力を入れている大学」の項目で、明治大学は17年連続で1位となった（大学通信調べ）。1、2年次の「キャリア支援」に力を注いでいる点も大きな特徴で、キャリアガイダンスや各種プログラムなどを通して早期からキャリアを意識する機会を提供している。